

日本の国立公園は、日本を代表する自然の風景地として、自然公園法という法律に基づいて国（環境大臣）が指定し、管理しています。

国立公園は、訪れる人々が自然とふれあうことにより、深い感動ややすらぎ、楽しみを得る機会を提供するとともに、将来世代も同じような体験ができるよう、自然の風景を守り伝えることを目的としています。このため、国立公園ではさまざまなきまりや取組によって豊かな自然と生物多様性を守るとともに、利用のための施設や様々なサービスが提供されています。

[illegible] 環境省 吉野管理官事務所

紀伊山地の
霊場と参詣道
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」

よくくまを舞台にした取組

南紀熊野ジオパーク

南紀熊野地域は、海洋プレートが大陸プレートの下に沈み込むことにより生み出された大地と、それらが創る独特の景観や温暖湿潤な気候がもたらす多種多様な動植物、それらの自然に育まれた熊野伊弉や筏下りなど、数多くの



南紀熊野ジオパーク

サイクリングルート「クマイチ」

伊平川南部（熊野地域）を左回りで一環するサイクリングルートです。クマイチ 沿いに熊野の南・山・川があり、吉野城跡公園の名所のほか、世界遺産オオノキヤシが多く点在します。混光朝顔は黄色が鮮やかな、2300 ㎞の木格の有名な自転車ツーリングが楽しめます。見物地「口熊野（くまの）」と呼ばれる「富田町。熊野古道にまつわる歴史スポット、絶大なる「よくし」の自然に育まれたグルメや温泉も楽しみながら、旅でくまのと賢遊できます。

ユネスコエコパーク（生物圏保存地域）

大台ヶ原・大峯山・大杉谷は、自然と人間社会の共生を目的としたユネスコエコパークに登録されており、生態系の保護と持続可能な利用に向けての取組が行われています。

**ラムサール条約湿地の海
「串本沿岸海域」**

Ramsar

串本沿岸海域は、黒潮の影響を受け、サンゴを中心とした生態系が成立する世界最北の海として、平成17年にラムサール条約湿地に登録されており、保全とウィズユース（持続可能な資源の活用を可能にする賢明な利用）の取組が進められています。

長野県自然歩道は、豊かな自然や歴史・文化とのふれあい、心身のリフレッシュなどを目的とした自然歩道で、全国で約21,000kmが整備されています。そのうち近畿自然歩道としても約3,200kmが整備され、熊野古道や筏師の道、古庄街道など、様々なコースが楽しめます。

千里の浜 乗入れ規制区域



西大台利用調整地区 拡大図



七里御浜・王子ヶ浜乗入れ規制区域



国土地利用計画 電子地図版(2000版)及び数値地図(国土地利用計画)を加工して作成